

第2回 西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（黒田庄中学校区） 意見概要

テーマ：①望ましい学習・生活集団規模について ②望ましい指導体制について

【A グループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名

No	意見
テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について	
01	2つの小学校共に、児童数が減少している。桜丘小は、どの学年も1クラス、10人～20人以下、楠丘小も、30人を割り込む学年が増えてきている。
02	小学校に教科担任制が導入されている。学校規模の大きい方が、教科担任制の導入効果は大きい。
03	小学校の学級担任制は、教員の指導力の差が顕著に出やすい。
04	中学校の学習はより専門的になる。個々の先生の担当する教科の専門性が必要である。
05	小中一貫教育においては、中学校の先生が小学校の授業を担当することも可能となる。
06	小学校低・中学年においては、子ども理解が十分できる学級担任制が望ましいのではないかな。
07	小学校では、集団生活や集団活動になじむことが重要である。子どもの発達段階に応じた指導形態、方法が必要である。
08	子どもに対する見方や評価が固定化しないためにも、学校に多様な先生方がいらっしやることが大切ではないかな。子どもにとって、多様な先生方との出会いは重要。
09	黒田庄地区は、地域の大人や年齢の異なる子どもたちの繋がりが強い地域である。大人も含めた人との出会いが豊かな地域である。
10	黒田庄地区の子どもたちの良さ（おぼこい子どもが多い）を大切にしてほしい。
11	小学校は、しつけを学ぶという要素が多いのではないかな。小学校高学年から中学校は、社会性を学び、幅広く勉強する時期ではないかな。発達段階に応じて、適切な集団規模があるのではないかな。

【B グループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名

No	意見
テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について	
01	少人数によるメリットもある。（先生との深い関わり）
02	今後、更に子どもの人口が減少すると、学校統合を検討するべきではないかな。今後も減少傾向は続くと言われる。保育園は一つ。小学校で2つに分かれて中学校で一つになる現状がある。
03	クラス替えがあったほうが良い。人間関係がリセットできないという課題有。
04	子どもたちの為にも、ある程度の集団規模を維持することは大切。
05	登下校の安全確保という面からも、児童数が減少することは問題。安全な登下校の確保は課題。
06	子ども同士の意見交換を必要とする授業であれば、少人数は課題がある。（多様な考え等に触れる機会）
07	体育大会・運動会における応援合戦等の行事は、縦割り班活動として多様な関わりを通して成長できる場である。
08	過度な児童数の減少は、学校行事の運営や教育効果から見て、課題もでてくるのではないかな。
09	黒田庄の魅力（教育の魅力）を発信する必要がある。
10	子どもの多様化から見れば、教員の指導体制や子どもの集団規模も多様な体制・規模に対応できるものであることが望まれる。（大きな集団・小さな集団の併用な可能な集団規模）
11	地域学習という視点を入れて欲しい。（地域の良さ・地域のなりたち等）
12	郷土愛を育む教育を望みたい。地域活動は、黒田庄中学校の地域の活動がモデル。

13	少子化が進行する地域。小中一貫教育への移行は、保護者から見て利点があるのではないかと思う。
14	中学校の部活動への対応。設置される部活動が減少している。(入部したい部活動の選択肢が少ない) また、学校の部活動に入部せず、クラブチームへの入部を希望するケースの多く生じている。 (東中と黒中との合同チーム、黒中だけでは対応できない例。) (小学校高学年児童の部活動参加等の検討等)・・・小中一貫校の魅力づくり

【Cグループ】 地域代表・学校代表・保護者代表（就学前・小・中）各1～2名

No	意見
テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について テーマ② 望ましい指導体制について	
01	少人数だと顔ぶれが変わらないことで子供に幅がでない。
02	子どものためにはある程度の集団規模を維持するのが望ましい。
03	クラス替えができる児童生徒数があるのが望ましい。
04	就学前の子どもがいるが、なぜ統合しないのかという思いがある。
05	こども園→桜丘・楠丘→黒田庄中学校と小学校で2校に分かれるのであれば一つに統合した方が良いのではないか。
06	小中一貫校の方が保護者にしても利点があると思う。
07	いろんな行事ごとが多いので、小中一貫教育の方が良いように感じる。
08	少人数だと部活動の影響が大きい。
09	小学の高学年が中学の部活動や大会に参加しているケースもある。
10	中学校で行いたい部活動がないため、他市や他地区へ通っている子もいる。
11	個人個人を大切にした多様性のある教育を行ってほしい。
12	地域学習を取り上げてほしい。→郷土を支える人材
13	地域の特色を生かした授業を行い、郷土愛を育める教育をしてほしい。
14	特色を生かすのであれば、黒田庄としての魅力などの発信をすべきではないか。